

宝塚市立中山五月台中学校吹奏楽部 3年 クラリネット

今年、私達は中学校生活最後のコンクールを迎えるはずでした。

3月、4月と新型コロナウイルスによる感染状況が悪化するにつれ、コンクール開催への不安も大きくなっていきましたが、心の隅では「大丈夫！」という気持ちもありました。

5月、遂に恐れていたコンクールの中止発表がありました。

その時は悔しくて、悔しくてしょうがなかったです。渡辺先生とみんなで名古屋国際会議場のステージを目指したかったです。しかし、中止が決まった以上、来年の全国大会のステージで後輩達が演奏できることを望み、一生懸命に指導することが私達の役割だと思っています。

私達は全国大会に出場したバンドの3年生です。集大成の定期演奏会にむけ全国レベルの演奏と行動力に磨きを掛けたいと思います。そして「日本一の吹奏楽部」という伝統と目標に向けて後輩達と一丸になって、自慢できる最高のステージを創りたいと思います。…ウイルスが終息することを願っています。

県立西宮高等学校吹奏楽部 部長 3年 フルート

私は中学から吹奏楽をはじめました。

いつもみんなでいい音を追求し、しんどくても追求した音が出た時のあのこみ上げる達成感を幾度も経験してきました。

高校3年生になり定期演奏会、コンクール、そして引退が当たり前のことだと思っていました。しかし想像もしないこの状況。コンクールがなくなるかも…とあっていても実際開催の中止が決まり本当にショックでした。

6月に入り、練習が少しずつ始まり、今、楽器を吹けること、部員みんなで過ごす時間、新入生を迎えるわくわく感など、吹奏楽が大好きだと改めて実感しています。

コンクールがないから終わりが無いという思いもありますが、終点がないからこそまたみんなでどこかで吹けるかも！！吹きたい！！聞いてもらいたい！！という思いでこれからも吹奏楽を楽しみたいです。